

トラック運送業務を見直し、荷主に選ばれる企業へ 物流業の業務改善講座

【中小企業大学校広島校開催】

研修のねらい

物流業においては、コロナ禍下、人手不足がより深刻化し、燃料費が高騰する中、車両運行や荷役等人によるサービス供与のウェイトが高く、膨大な取引情報への関与も必要であるという業界特性から、徹底した物流コストマネジメントの必要性がますます高まっています。特に、トラック運送における運行管理や荷主向け輸送サービス等の効率化、コスト問題への対応は喫緊の課題です。

この研修では、物流業が直面する以上のような経営環境・課題を踏まえ、コスト・収益の見直しやデジタル活用等による業務改善の進め方について理解するとともに、その成果を自社の業務プロセス等の改善に活かした計画策定を通じて、実践的に学びます。

研修のポイント

- ☑ **物流の収益性向上やコスト削減について、事例を交えて学びます。**
- ☑ **インターバル期間に自社の事業・業務改善計画を作成、演習を通じてさらに精度を高めます。**
- ☑ **自社の事業・業務改革について、組織的に推進する手法を習得します。**

研修期間

2022年 **7/28** 木 ~ **29** 金
8/25 木 ~ **26** 金

(2日間×2回(全4日間)、26時間)

対象者

経営幹部・管理者等

定員 **30**名

受講料 **36,000**円(税込)

会場

中小企業大学校 広島校

〒733-0834
広島市西区草津新町1-21-5
TEL 082-278-4955
FAX 082-278-7201

受講者の声

- ・現場がよく見える内容だった。
- ・荷主目線で原価計算する手法は、これまで思いがたかかったので利用したい。

月日	時間	科目	内容
7/28 木	9:00~ 9:10	開講式・オリエンテーション	
	9:10~12:30	トラック運送業における事業・業務改革の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ○トラック運送業の現状と課題 ○請負運送業から顧客価値創造業への変革 ○荷主コスト削減と運送収益向上の両立 ○トラック運送業の原価計算 <ul style="list-style-type: none"> ・時間重視型の原価計算への変革 ・顧客別・運行別の収益分析
	13:30~17:10		
	17:30~19:00	受講者交流会(※1)	
7/29 金	9:00~12:30	トラック運送業における事業・業務改革の進め方(演習)	<ul style="list-style-type: none"> ○事業・業務改革の目標設定の仕方とKPI(重要業績評価指標)の活用法 ○事例研究 <ul style="list-style-type: none"> ・荷主との連携による改善事例 ・KPIによる業務改革事例 ・デジタル活用による情報共有化 ○自社の事業・業務改革の計画立案
	13:30~16:00		

インターバル期間中の課題 前期(第1回)で学んだことを踏まえて自社の事業・業務改善計画(※2)の作成に取り組みます。

月日	時間	科目	内容
8/25 木	9:00~12:00	生産性向上のための事業・業務改善計画策定(演習)	<ul style="list-style-type: none"> ○インターバル期間中に作成した自社の事業・業務改善計画を共有し、受講者間で相互にアドバイスをを行い、計画のブラッシュアップに取り組みます <ul style="list-style-type: none"> ・インターバル課題の振り返り ・受講者間での相互アドバイス ・自社の事業・業務改善計画のブラッシュアップ
	13:00~17:00		
8/26 金	9:00~12:00	事業・業務改革を推進する仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○社内の改革意識醸成と体制づくり ○改革を推進するためのPDCAサイクル ○荷主と連携した改革の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・荷主と連携することで改革効果を向上 ・KPIによる業務改革事例 ・デジタルを活用した業務改革事例
	13:00~16:00		
	16:00~16:10	終講式	修了証書の交付

- ※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受講者交流会は当分の間中止いたします。開催の場合は改めてご案内いたします。
- ※2 自社の輸送サービスの棚卸を行い、定量的な目標数値に基づく「事業・業務改善計画」の検討・策定に取り組みます。
- ※3 カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

講師紹介(敬称略)



合同会社サプライチェーン・ロジスティクス研究所 代表社員

久保田 精一 (くばた せいいち)

一般財団法人 日本システム開発研究所、公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会、JILS総合研究所において物流分野の調査研究・コンサルティングに従事。
荷主および物流事業者に対する物流コスト管理導入の支援、物流KPIの導入支援や国・地方自治体の調査研究を実施。
日本物流学会会員、運行管理者(貨物)、城西大学非常勤講師。



独立行政法人 中小企業基盤整備機構
中小企業大学校 広島校

お申込み方法、お問い合わせ先等は裏面をご覧ください。
Webからもご覧いただけます。

広島校

検索

●お申込み方法

受講申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送にて右記あてにお送りください。
ホームページ(https://www.smrj.go.jp/institute/hiroshima/)からもお申込み出来ます。
※お申込みは先着順とさせていただきます。

お申込み先：中小企業大学校 広島校
〒733-0834 広島市西区草津新町1-21-5
FAX 082-278-7201
TEL 082-278-4955

●受講決定と受講料の納入

開講日の約1か月前から当校より貴社の事務連絡担当者様あてに「受講受入決定通知書」「受講料振込用紙」などを送付いたします。
受講料は記載された指定期日までにお振り込みください。
※振込手数料はご負担ください。
※納入後の受講料は、キャンセルされる場合でも一部又は全額を申し受けますので、予めご了承ください。

●校内宿泊施設のご案内

宿泊施設を併設しておりますので、ご希望の方は受講申込書内の「入寮申込」欄にご記入ください。
●宿泊費：2,300円/泊(税込・朝食サービス) ※入寮時にフロントにて現金(またはLINE PAY)でお支払いください。
●昼食・夕食については、校内の食堂をご利用いただけます。

●受講者交流会(中止)

受講者交流会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当分の間中止いたします。
開催する場合は改めて受講される皆様にご案内いたします。(会費：2,600円(税込) 会場：広島校内 食堂)

●中小企業大学校広島校への交通アクセス



＜市内電車をご利用の場合＞

●広島電鉄宮島線「草津駅」下車 徒歩約12分
※「JR西広島駅」又は「JR新井口駅」で広島電鉄宮島線に乗り換えができます。

＜市内バスをご利用の場合＞

●広島バス25番・50番「草津町」下車 徒歩約10分
●アルパークバスターミナル(JR新井口駅)から徒歩約5分)からLECT行きシャトルバス 「LECT」バス停より徒歩約6分

＜自家用車をご利用の場合＞無料駐車場完備(69台)

●広島高速3号線(広島南道路)商工センター出入口から約1分
●山陽自動車道 五日市I.C.から商工センター方面、草津沼田道路経由約15分

◎受講申込書 [No.22-24 物流業の業務改善講座]

中小企業大学校 広島校 宛

年 月 日

ふりがな 企業名			代表者名 (役職)				
所在地	〒 -		TEL	() -			
業種	D 建設業	E 製造業	F 電気・ガス・熱供給・水道業	資本金	千円	従業員数	人
	G 情報通信業	H 運輸業	I 卸売業	創業	(西暦)	年	月
	I 小売業	J 金融業・保険業	K 不動産業・物品賃貸業	貴社の 事務連絡 担当者	Eメール		
	M 宿泊業・飲食サービス業	R サービス業	その他 ()		今後、当校のメールマガジンをお送りしてよろしいですか? <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ		
取扱品目			所属・役職	ふりがな 氏名			

この研修をどのようにして ①研修ガイド ②チラシ ③ホームページ ④Web広告・SNS ⑤メールマガジン ⑥他社からの紹介・口コミ ⑦自治体・商工団体
知りましたか? ⑧金融機関 ⑨新聞・雑誌・ラジオ・街頭広告 ⑩中小機構職員の訪問・電話 ⑪セミナー・イベント ⑫その他 ()

受講者①	ふりがな 氏名			年齢	歳	性別	男・女
	役職			緊急連絡先 (ご自宅等)	TEL () -		
	入寮申込	入寮する <input checked="" type="checkbox"/>	宿泊期間	年 月 日()~	月 日()朝まで	泊 日	※宿泊室は全て禁煙です。
	その他	例：車椅子、アレルギーなど					
受講者②	ふりがな 氏名			年齢	歳	性別	男・女
	役職			緊急連絡先 (ご自宅等)	TEL () -		
	入寮申込	入寮する <input checked="" type="checkbox"/>	宿泊期間	年 月 日()~	月 日()朝まで	泊 日	※宿泊室は全て禁煙です。
	その他	例：車椅子、アレルギーなど					

当社(当機関)は、暴力団等の反社会的な勢力に該当せず、今後においても反社会的な勢力との関係を持つ意思がないことを確約します。
また、反社会的な勢力に該当し、もしくは暴力的な要求行為等に該当する行為をしたことが判明した場合には研修の受講を中止されても異議申し立てを行いません。

(受講申込における個人情報の保護について)
個人情報保護法に定義される個人情報に該当する情報については、中小機構内で実施する事業で使用します。当該個人情報の第三者(業務委託先を除く)への提供または開示はしません。
ただし、お客様の同意がある場合および、法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものとします。

FAX番号 082-278-7201 (HP)